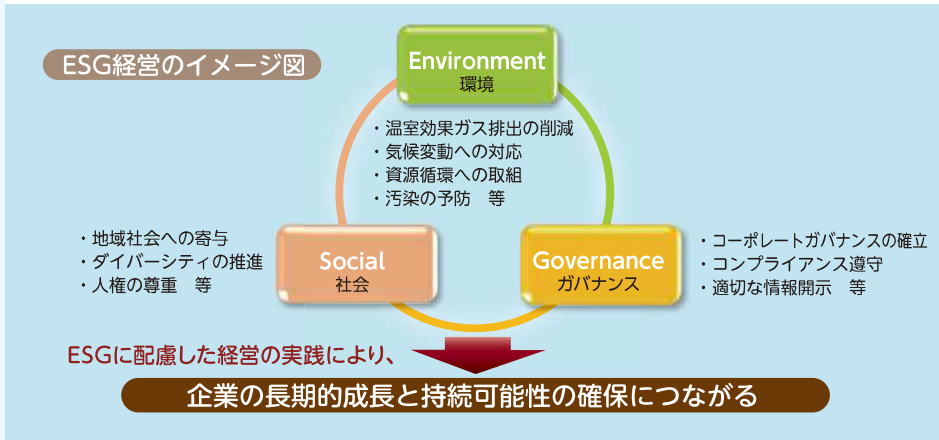


ESG経営とは？

企業は単に利益をあげているだけでは、決して存続・成長していくことはできません。企業も社会の一員として、様々な利害関係者、例えば、株主や従業員、顧客や取引先、行政や地域社会などと良好な関係を築くことが求められます。

ESGは、**Environment (環境)**、**Social (社会)**、**Governance (ガバナンス)** のそれぞれの頭文字を取ったもので、いずれも持続可能な社会を実現するために企業の利害関係者の関心が高いものになります。**このESGに配慮した経営 (ESG経営) が今、注目されています。**

下図にある**環境、社会、ガバナンスの課題への取組を怠ると、企業経営に直接、あるいは間接的に影響を与えるリスク**になります。事業を営むうえで避けては通れない事象に対して、**リスクや機会を十分認識したうえで、どのように戦略的に取り組んでいくのかを示したものが、ESG経営**といえるでしょう。



中小企業がESG経営に取り組むメリット

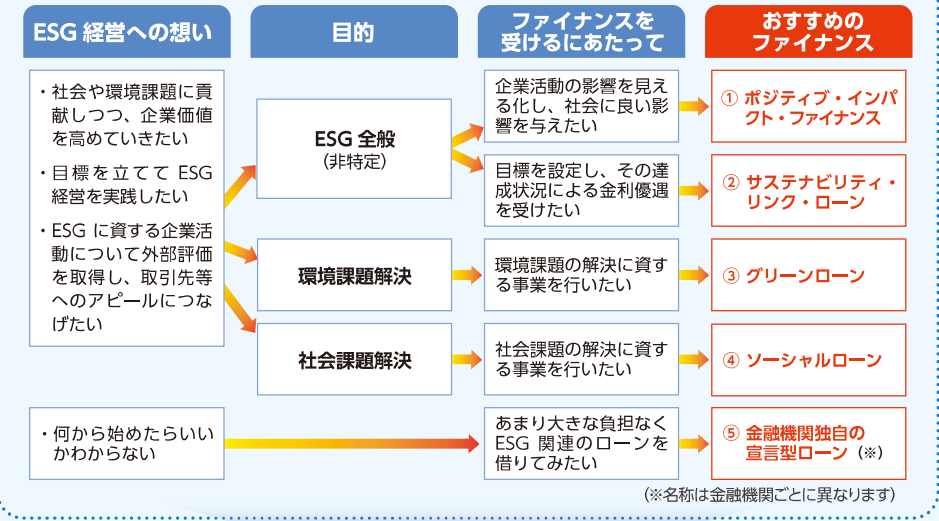
経営リスクの軽減	ESGに配慮した経営を行っていないと、 サプライチェーンから排除されてしまうなどの影響 が始めています。ESG経営を実践することで、そうした リスクを未然に防ぐ ことができ、経営リスクの軽減につながります。
ブランド力 (企業価値) の向上	ESG経営に取り組むことで、「 社会に貢献する企業 」という評価につながります。また従業員の働き方や労働環境の改善を進めることにより「 働きやすい、働きがいのある会社 」という評価につながります。
人材の確保	自社の企業活動が持続可能なものであることを示すことができれば、 従業員は自社への誇りを持つ ことができます。また学生などの求職者に対しても 環境や社会課題に対応している企業としてアピール することができます。
資金調達力の向上	ESGに関わるリスクや機会、そのための取組を整理することで、将来の損失の回避あるいは収益拡大につながる取組であることを金融機関に説明できるようになり、 資金調達力の向上 につながります。

みなさまの状況にあわせて活用できるESGファイナンスがあります

ESGファイナンスとは、売上や利益のような企業の財務情報だけではなく、環境への取組、社会課題の解決に向けた取組、健全な企業経営に向けた取組などの「**非財務情報**」も**投融资の判断材料**として、**地球環境や社会問題等の解決に資する企業活動を金融面から支援するもの**です。

みなさまのESG経営の取り組む内容や意欲に合わせ、**金融機関では様々なESGファイナンスの商品を用意し、企業の取組を応援しています。**

自社の事業に適したESGファイナンスは？



名融資称	主な特徴	資金用途	融資金額 (目安)	国際原則等に適合した第三者評価の取得 (※)
① ポジティブ・インパクト・ファイナンス	企業活動が環境や社会等に与える影響を包括的に分析し、目標設定の上、その実現を支援する融資	運転資金 設備資金	5千万円以上	○
② サステナビリティ・リンク・ローン	サステナビリティ戦略に関する目標を設定し、達成状況に応じて金利等が変動する融資	運転資金 設備資金	5千万円以上	○
③ グリーンローン	脱炭素など環境面に配慮した事業への用途に限定した融資	原則、 設備資金	5千万円以上	○
④ ソーシャルローン	社会課題解決に資する事業に用途を限定した融資	原則、 設備資金	5千万円以上	○
⑤ 金融機関独自の宣言型ローン	脱炭素やSDGsに資する取組意欲を支援することを目的としたローン	運転資金 設備資金	1千万円以上	-

(※) 外部民間格付機関等から、事業計画等が国際原則やガイドラインに適合していることについて評価を得るものです。融資条件等により異なりますが、取得にあたり相応の費用が発生します。

詳細は次のページへ！